（別記参考様式第２号）

（第一面）

設計内容（現況）説明書

建築物の名称	
設計者等氏名	

【基本事項】

確認事項	確認項目	項目	設計内容（現況）説明欄		設計内容確認欄
			設計内容（現況）	記載図書	
建物の概要	建築物に関する事項	用途	・建築物の用途 □ 非住宅建築物　■ 住宅　□ 複合建築物		
			申請の対象となる用途（該当する全て） ・住宅　または複合建築物の住宅部分 □ 共同住宅等、複合建築物の住戸　■ 一戸建ての住宅 ・非住宅　または複合建築物の非住宅部分 カッコ内はモデル建物法による用途 □ 事務所等　（ □ 事務所モデル ） □ ホテル等　（ □ ビジネスホテルモデル　□ シティホテルモデル ） □ 病院等　（ □ 総合病院モデル　□ 福祉施設モデル　□ クリニックモデル） □ 百貨店等　（ □ 大規模物販モデル　□ 小規模物販モデル） □ 学校等　（ □ 学校モデル　□ 幼稚園モデル　□ 大学モデル　□ 講堂モデル　） □ 飲食店等　（ □ 飲食店モデル ） □ 集会所等　（ □ 集会所モデル ） □ 工場等　（ □ 工場モデル　）		
	申請の対象となる範囲		・申請する評価の範囲（該当する全て） ■ 一戸建ての住宅 □ 共同住宅等、複合建築物の住戸 □ 非住宅建築物の全体・複合建築物の非住宅部分全体 □ フロア・テナント □ 建物用途 □ 共同住宅等の住棟・複合建築物の住宅部分全体 □ 複合建築物全体 □ その他の部分		

【参考】申請の対象とする範囲と設計内容説明書の関係

申請の対象とする範囲	住宅用【第二面】	非住宅用【第三面】	共用部用【第四面】	住棟用【第五面】
一戸建ての住宅	○	－	－	－
共同住宅等、複合建築物の住戸	○ ※1	－	－	－
非住宅建築物全体	－	○	－	－
フロア・テナント・建物用途	－	○ ※2	－	－
共同住宅等の住棟等	○ ※1	－	○	○
複合建築物全体	○ ※1	○	○	○ ※3
その他部分による	適宜選択			

※1･･･　住戸ごとに作成する。ただし別の表を用いることも可能。

※2･･･　申請単位ごとに作成する。ただし別の表を用いることも可能。

※3･･･　住宅仕様基準、誘導仕様基準を含む場合は作成不要。

ＢＥＬＳに関して記載する数値は以下のとおりとします。

・U_A　小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。

・η_{AC}　小数第一位未満を切り上げた数値を記載してください。

・年間熱負荷係数　小数第一位以下を切り上げた数値を記載してください。

・ＢＰＩ　小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。

・ＢＥＩ　小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。

・設計・基準一次エネルギー消費量　小数以下一位未満を切り上げた数値を記載してください。

・削減率　１未満の端数があるときは、これを切り捨てた数値を記載してください。

（一次エネルギー消費削減量とは「基準一次エネルギー消費量 － 設計一次エネルギー消費量」をいいます。）

（第二面）【住宅用】

住宅または、複合建築物の住宅部分

（■ 一戸建て住宅・　□ 共同住宅等・複合建築物の住戸（ □ 別表に記載））

住戸番号　※共同住宅等の場合以外は記入不要	

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容（現況）	記載図書欄	
躯体の外皮性能等	性能基準等	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率（U_A） 設計値（　　）【W/m²K】　基準値（　0.87　）【W/m²K】	□ 計算書 □ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □ 建具表	□ 適
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値（η_{AC}） 設計値（　　）　基準値（　　）		
	仕様基準	基準の選択	□ 仕様基準　□ 誘導仕様基準	□ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □ 建具表 □	
		躯体の断熱性能等	□ 熱貫流率の基準に適合 □ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 □ 構造熱橋部の基準に適合（鉄筋コンクリート造等の場合）		
		開口部の断熱性能等	□ 開口部の熱貫流率と日射遮蔽対策の基準に適合 □ 緩和措置あり □ 窓の断熱（2%緩和）　□ 窓の日射（4%緩和）		

【一次エネルギー消費量等に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容確認欄
		項　目	設計内容（現況）	記載図書欄	
基本事項		計算対象床面積	計算対象床面積 （　　）㎡	□ 平面図 □ 求積図	
一次エネルギー消費量		計算結果等	□ 一次エネルギー消費量に関する性能基準 ・設計一次エネルギー消費量（その他除く） （　　）GJ／年 ・基準一次エネルギー消費量（その他除く） （　　）GJ／年　…① ・ＢＥＩ　（　　） □ 一次エネルギー消費量に関する仕様基準（住宅部分） □ 誘導仕様基準（住宅部分）	□ 計算書 □ 仕様書 □	□ 適
設備の概要	設備機器に係る概要	暖房方式	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合	□ 仕上表 □ 建具表 □ 矩計図 □ 平面図 □ 機器表 □ 系統図 □ □	□ 適
		冷房方式	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		換気設備方式	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		給湯設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		照明設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		太陽光発電の使用について	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝの使用について	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
「ＺＥＨマーク」「ゼロエネ相当」、「ＺＥＨ－Ｍマーク」に関する事項	「ZEHﾏｰｸ」、「ゼロエネ相当」、「ZEH-Mﾏｰｸ」に関する表示 ※選択した場合のみ	外皮基準	基準値（　　）【W/m²K】	□ 計算書	□ 適
		再生可能エネルギー等除き	・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を除いた設計一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く） （　　）GJ／年　…② ・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を除いた一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費削減量（その他除く） （　　）GJ／年　…③＝①−② ・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を除いた設計一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く）の基準一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く）からの削減率 （　　）%削減　…③／①×100	□ 計算書 □	□ 適
		再生可能エネルギー等加え	・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を加えた設計一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く） （　　）GJ／年　…④ ・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を加えた一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費削減量（その他除く） （　　）GJ／年　…⑤＝①−④ ・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ等を加えた設計一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く）の基準一次ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量（その他除く）からの削減率 （　　）%削減　…⑤／①×100		
		外皮基準・一次エネルギー消費量水準	□ 誘導仕様基準に適合（ZEH Oriented又はZEH-M Oriented※1に限る） ※1共用部無しの場合に限る	□ 仕様書 □ 機器表 □	□ 適